

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2月

事業所名 発達支援室クオール鳥羽

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令に基づいたスペースを確保しています。	今後も蜜にならない空間、活動しやすい配置を考えています。
	2	職員の配置数は適切である	○		法令に基づいた人員を配置しています。	現状を維持していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		室内はバリアフリーになりました。	必要なことがあれば環境整備をします。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		現状を振り返り、必要に応じて見直しをしています。	職員間で意見交換がしやすい環境整備にも努めます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートにご協力頂き、結果について真摯に受け止め、業務改善に努めています。	保護者の方のご意見に耳を傾け、よりよい支援をめざします。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開しています。	今後も現状を維持します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在は外部評価は行っておりません。	今後については、必要性を重要視し検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月に一度、研修及びスタッフミーティングを行っています。	今後も、保護者様のご要望にお応えできるように、職員の資質向上に努めます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年に一度を基本に、成長・発達に応じてアセスメント及び計画を作成するようにしています。	保護者様と共有できる計画を作成していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	事業所独自の物を使用しています。	おこさんの現状把握ができるように、適宜、内容を見直します。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		支援にあたるスタッフで意見を出し合い、より適切なプログラムになるように工夫しています。	今後も、保護者様のご要望にお応えできるように、お子さんの状態に合わせた内容の支援を考えていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用時間やおこさんの様子に合わせて活動内容を工夫しています。	子どもたちの達成感を大切に、保護者の要望にお応えできる内容を考えていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		学校で頑張ってきた平日と休日の状況に合わせた支援ができるようにしています。	利用時間に合わせた支援を今後も提供していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		おこさんの特性に合わせて、活動のバランスを考えています。	おこさんの発達や成長、気持ちの状態に合わせた放課後等デイサービス計画を作成していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		その日の利用児童の情報や様子を確認し、共有しています。	スタッフ間でスムーズに活動支援が行えるように努めます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		活動状況、一日の流れを振り返り、次回に繋げています。	振り返りが次の支援に生かせるように、気づきの共有を大切にします。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々、記録を取り、次に支援するべき点について検証しています。	情報管理を徹底していきます。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度を基本に、成長・発達に応じてモニタリング及び計画を作成するようにしています。	おこさんの状態に合わせ、適宜、放課後等デイサービス計画の見直しをしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		おこさんの様子に合わせて、様々な活動を行っています。	個々のおこさんの状況に応じた支援ができるように工夫していきます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		主に児童発達支援管理責任者が出席しています。	現状を維持すると共に、会議の内容を支援に生かせるようにしていきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		主に学校との情報共有はご家族を通して行っています。ご希望がある場合は面談させてもらっています。	学校との情報共有や連絡調整に努めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		今の所、医療的ケアが必要なお子さんの受け入れは行っていません。	今後、検討していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		継続支援に努めています。	各機関との必要な情報共有に努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		見学に来て頂いたりして、共有しています。	保護者の方のご希望がある場合、情報を共有し、障がい福祉サービスへ移行されてから、困りごと等ができるだけ少なくなるようにしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修に参加しています。	今後も連携に努め、助言や研修を受けていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		戸外での活動の時には、地域の子どもたちと自然な形で交流しています。	今後も地域のお子さんたちとの交流の機会を考えていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		他機関の方との連携を大切にしています。	他の障がい福祉サービス事業者の方と地域のことについて考えていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		利用日・送迎時に直接お話をしています。	保護者の皆様と共通理解ができるように努めます。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		お子さんの様子に合わせて個別に相談支援をしています。	今後も、お子さんに合わせて、行動チャートや対応についてご提案し、保護者の方の安心に繋げていきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		規程を明確にし、紙面にて説明しています。	現状を維持します。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		ご相談にはその都度、応じていますが、必要に応じて時間を取り、助言と支援を行っています。	子育てにおける不安や悩みを共有し、解決に導けるように支援します。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		現状では行っていません。	今後、ご希望やご要望があれば、検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情に関しては相談窓口を設け速やかに対応しています。	主訴やご意見をしっかりお聞きして、改善策についてご説明させていただきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		お便りを月に一度、発行しています。	保護者の方に読んで頂きやすい内容を心がけていきます。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報について職員一同十分に気をつけるように徹底しています。	個人情報の取り扱いに関しては、今後も十分注意し、徹底していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		ご本人の特性に合わせて、文字やイラストで表示するなど対応しています。	より分かりやすくお伝えできるように努めています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域でのイベントに参加しています。	地域の方々との関係作りも大切にしています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを作成しております。	事業所の環境整備を進めると共に、災害に対する意識を高めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月、避難訓練を実施しています。	年に一度、消防署と連携した消防訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止委員会を設置しています。	毎年、研修を行うことを維持して、虐待防止の意識向上に努めます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		医師の指示の元、やむを得ず必要な場合は、同意書及び計画に記載しています。	現状を維持します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者の方の申し出に応じています。	アレルギーに対する知識について研修していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事故報告、インシデント報告書を使用しています。	今後も危険に対する意識向上に努め、安心・安全につながっていきます。